



歳末特別火災予防運動実施中



【目的】

年末は、寒さのため火気の使用が多くなり、歳末の多忙と併せ、火気の取り扱い不注意による火災が多く発生します。

市民の火災予防思想の高揚を図るとともに、消防職団員を動員して消防警備体制を強化し、市民が平穩無事に、明るい新年を迎えられる事を目的として歳末特別火災予防運動を実施します。

【実施期間】

令和元年12月15日（日）～12月31日（火）

【実施内容】

- ・火災予防運動実施中の看板や懸垂幕の掲出
- ・消防職員・消防団員による巡ら警戒を実施
- ・大規模小売店舗等に特別査察を実施
- ・不特定多数の人が出入りする大型スーパー等で防火広報を実施



令和元年 歳末特別警戒出動式



令和元年12月13日（金）に令和元年歳末特別警戒出動式を行いました。

市長や市議会議長、市川市消防協会会長からのあいさつ、消防団長から激励を受け、消防職団員の士気の高揚を図ることができました。

歳末特別火災予防運動期間中は、消防職団員が夜間警備体制強化のため20時から23時まで管轄区域の巡ら警戒及び放送宣伝を行い、火災予防の徹底を図ります。



出動準備完了!



いざ、出動!



ご自宅の冷蔵庫やテレビなどの 死角となりやすいコンセント、最近見ましたか!? ～ 住宅火災から大切な命を守るために!! ～



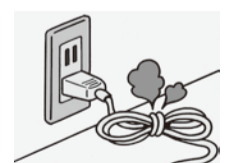
全国的に火災件数は年々減少傾向にあります。私たちが日常生活を送るにあたり電気は必要不可欠なものです。使用方法を誤ったり、使用環境によっては思いがけない火災を引き起こしてしまいます。電気や電気製品の安全な取扱い、適切な管理をして、電気火災を未然に防ぎましょう。

○電気コードからの出火に注意!!

電気コードが家具などの下敷きになっていたり、コードを束ねて長時間使用していると、やがて被覆や芯線が傷ついたり被覆が溶けて火災を引き起こしてしまいます。これを短絡現象（ショート）といいます。

防ぐためのポイント

- ・コードを家具などの下敷きにしなないようにしましょう
- ・コードの位置を点検しましょう
- ・コードを束ねないようにしましょう



○コンセントやプラグからの出火に注意!!

コンセントやプラグの隙間に水分やホコリがあったり、劣化したプラグやコンセントを使用していると、その表面において小規模な火花放電が発生し、火災を引き起こしてしまいます。これをトラッキング現象といいます。

防ぐためのポイント

- ・コンセントやプラグにホコリが溜まらないように手入れをしましょう
- ・傷みや緩みがあるプラグは使用しないようにしましょう
- ・プラグは丁寧に取扱いましょう



令和2年 市川市消防出初式

- 【日時】** 令和2年1月11日(土) 午前9時30分
※雨天の場合は10時から消防局5階ホールで式典のみを行います。
開催についての問い合わせは、消防局テレホンガイド(333-3636)でご確認ください。
- 【場所】** 大洲1丁目18番 大洲防災公園
駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。
- 【内容】**
 - 部隊観閲** 市長による消防職員・消防団員及び婦人消防クラブ員の服装等の点検
 - 表彰** 消防業務等に協力された方々へ知事や市長からの表彰
 - 演技** とび職組合によるきやり・まとい
シャイニングプラネッツによる競技チアダンス
消防音楽隊によるドリル演奏
 - 体験、展示** 子供用防火衣を着て記念撮影するなりきり消防士
起震車による地震体験
高度救助隊の車両・資機材展示
- 【問い合わせ】** 消防局 消防総務課
TEL 333-2111 (音声ガイダンス6番)



文化財を守ろう

1月26日は「文化財防火デー」です

昭和24年1月26日、法隆寺金堂(奈良県)から出火した火災によって1300年の歴史を持ち、世界的な至宝と言われた金堂の壁十二面に描かれた仏画の大半が焼損しました。その後も文化財の焼失等が相次いだため、「先人たちが残した文化財を火災から守ろう」ということで昭和30年に文化財防火デーが制定されました。



重要文化財の五重塔



関係者、消防による一斉放水

文化財防火デーに伴う消防総合訓練を実施

本年10月31日未明には、世界遺産である首里城跡に復元された正殿など7棟が焼失しました。消防局では、文化財を火災から守るため、関係者、地元消防団と協力して消防訓練を実施し文化財愛護に関する意識の高揚を図るとともに、地域における防火・防災体制の確立を図ることを目的に消防総合訓練を実施します。

- 【日時】** 令和2年1月24日(金) 10時～
- 【場所】** 中山2丁目10番 日蓮宗大本山正中山法華経寺
- 【問い合わせ】** 東消防署 334-0119

地域の防災リーダー 消防団員募集中

『自分たちのまちは自分たちで守る』

消防団は強い郷土愛護精神のもと、それぞれの職業をもつかわら、日夜地域の消防活動をしている市町村の非常勤特別職の地方公務員です。

平常時、非常時を問わずその地域に密着し、消火活動の他に応急手当の指導やお祭り、花火大会での警備など地域や家族、そして仲間を守るために、一致団結して地域の安全を守っています。

市川市の消防団は地域ごとに23箇の分団があり女性消防団員15名を含む346名の消防団員が活躍しております。

消防団の主な活動でもある消防操法大会では昨年、第17分団が市内大会、東葛飾支部大会を勝ち抜き、千葉県大会で優勝し、全国大会に出場。

今年は第6分団が市内大会、東葛飾支部大会を勝ち抜き、千葉県大会で2位という成績を収めました。



▲▼消防団操法大会での活躍



災害発生時の活動



消防出初式で新規消防団員紹介



新規消防団員による宣誓



女性消防団員も活躍しています!



～若い力を消防団に～

近年、消防団員が減少し、平均年齢が上昇傾向となっております。そういったなか大学生や専門学校生等、若い力の消防団活動への参加が強く期待されています。

地域に密着している消防団員は、地域住民や地域の特性を熟知しており、日頃から訓練を行い災害時に対応できる能力があります。大規模災害時をはじめとして地域の安全確保のために大きな役割を果たしています。

市川市では、市内在住又は市内在勤の方で18歳以上の健康な方なら男女問わず入団できます。気になった方はぜひご連絡をお願いします。

- 【問い合わせ】** 消防局 警防課
333-2111 (音声ガイダンス3番)